

(1) セミナー

「日本におけるマテリアルズインフォマティクスの 勃興と現状、フュージョンエネルギーへの挑戦」

【開催日時】 2026年9月3日(木) 14:30 – 15:30

場所：核融合科学研究所（ハイブリッド開催）

主催：NIFS産学官連携コンソーシアム

「AI × フュージョンサイエンスヒルズ」準備会

核融合科学研究所（NIFS）・オンラインにて、以下のイベントを行います。



■(1)セミナー「日本におけるマテリアルズインフォマティクスの勃興と現状、フュージョンエネルギーへの挑戦」

伊藤聡氏（計算科学振興財団、理研、MS10星PJアドバイザー）

注：セミナー(1)は準備会ミーティング(2)の一部ですが、セミナー(1)のみの参加もできます。

【(2)準備会ミーティング 全体プログラム】

10:40 NIFS実験施設見学会集合予定(現地・事前申込者のみ/定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります)

10:45 – 12:15 NIFS実験施設見学会(事前申込者のみ)

13:30 – 13:40 山田NIFS所長挨拶

13:40 – 14:30 コンソーシアムの概要説明／星健夫、仲村直子(NIFS)、今寺賢志(京大)、原嶋庸介(NAIST)

14:30 – 15:30 セミナー「日本におけるマテリアルズインフォマティクスの勃興と現状、フュージョンエネルギーへの挑戦」

伊藤 聡氏(詳細は下記(1)を参照)

15:30 – 16:30 懇談会(お茶会・対面のみ、参加費500円を当日徴収します。)

■(1)セミナー詳細 14:30-15:30

「日本におけるマテリアルズインフォマティクスの勃興と現状、フュージョンエネルギーへの挑戦」

講師：伊藤 聡氏（計算科学振興財団、理化学研究所、MS10DSプロジェクトPMアドバイザー）

内容：マテリアルズインフォマティクス（MI）は、材料開発にデータ科学やAIを活用する新しい研究手法である。

2011年に米国で「Materials Genome Initiative」が開始されて以来、世界中で研究開発が加速し、材料開発の手法を大きく変えつつある。

伊藤聡氏[1]は、東芝において計算材料科学の研究開発に従事した後、計算科学振興財団や理化学研究所などにおいて計算物質科学の研究基盤構築を推進してきた。特に、物質・材料研究機構（NIMS）の「情報統合型物質・材料開発イニシアティブ（MI²i）」（2015～2020年）[2]では拠点長を務め、日本におけるMI研究を牽引してきた第一人者である。現在は、ムーンショット目標10プロジェクト「超次元状態エンジニアリングによる未来予測型デジタルシステム」（MS10DSプロジェクト）[3]のPMアドバイザーも務めている。

本講演では、こうした豊富な経験をもとに、日本におけるMIの発展の経緯と現状をわかりやすく解説するとともに、核融合炉材料の開発など、フュージョンエネルギー分野においてMIが果たす役割と今後の展望について議論する。

[1] https://researchmap.jp/itoh_satoshi/ [2] <https://www.nims.go.jp/MII-I/> [3] <https://ms10ds.nifs.ac.jp/>



・ イベントページ

<https://indico.nifs.ac.jp/event/95/>



【参加申し込み】

対面・オンライン共にこちらから(web/QR):

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_t87oSTzbSTaLTRdSQ8Ffcw



【アクセス】

対面会場であるNIFSへのアクセスについては、右記を参照してください。 : <https://www.nifs.ac.jp/access.html>

主催：産学官コンソーシアム「AI × フュージョンサイエンスヒルズ(仮称)」準備会

HP: <https://aif-con.nifs.ac.jp/>

【お問い合わせ】 Email: aif-con@nifs.ac.jp

TEL: 0572-58-2783